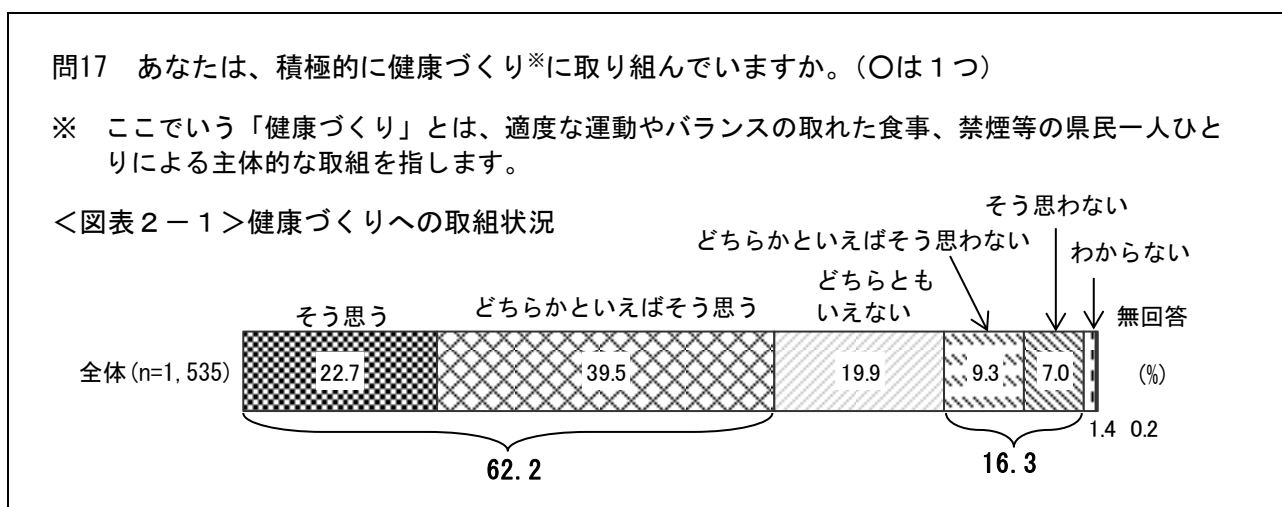


## 2 健康について

### (1) 健康づくりへの取組状況

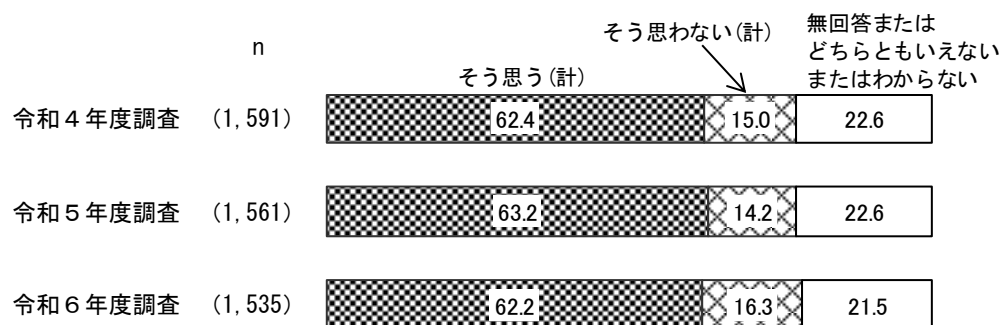
◇『そう思う（計）』が6割を超える



積極的に健康づくりに取り組んでいるか聞いたところ、「そう思う」（22.7%）と「どちらかといえばそう思う」（39.5%）を合わせた『そう思う（計）』（62.2%）が6割を超えている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」（9.3%）と「そう思わない」（7.0%）を合わせた『そう思わない（計）』（16.3%）が1割台半ばとなっている。（図表2-1）

〔参考〕令和4年度・5年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



#### 【地域別】

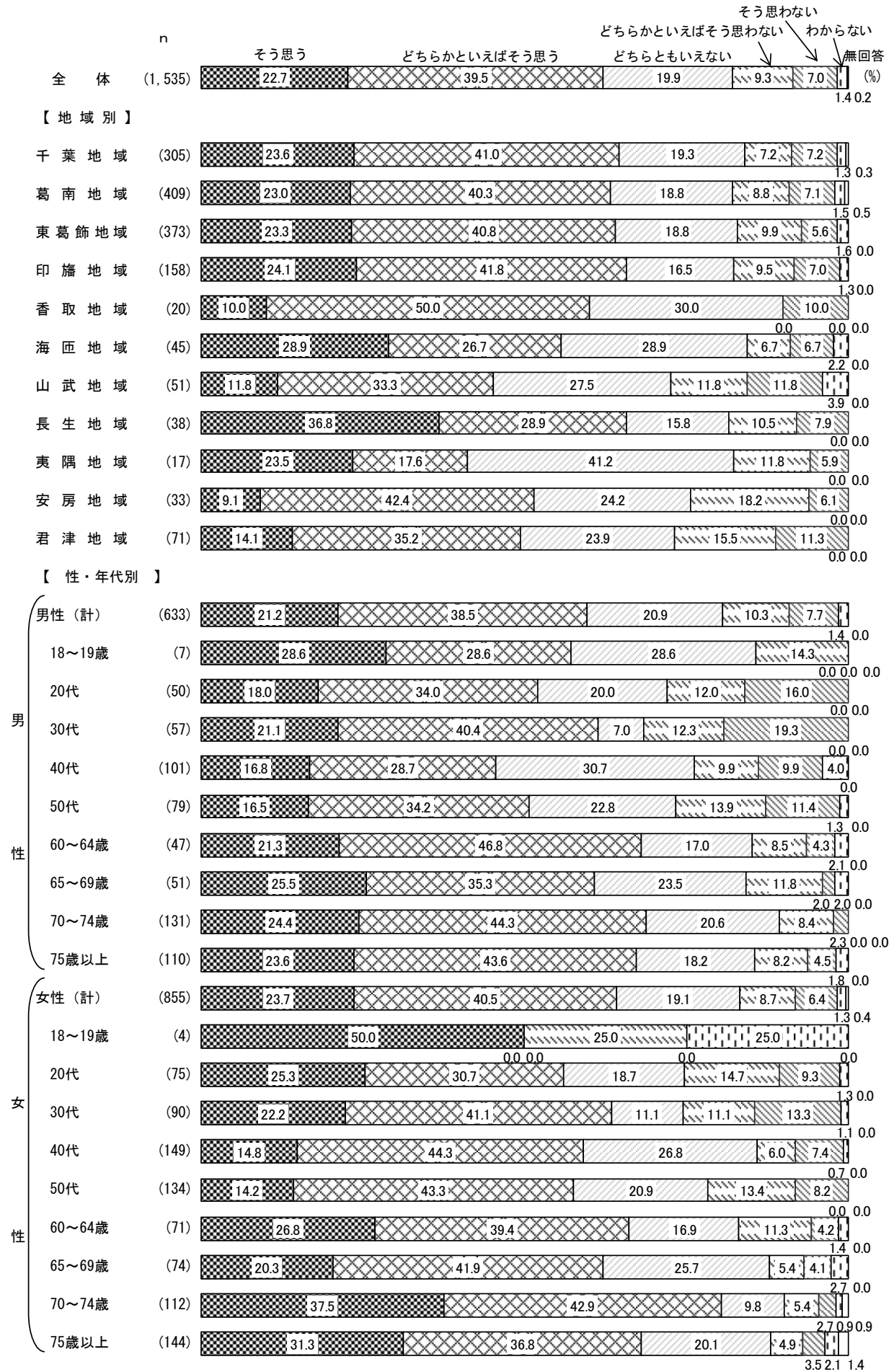
地域別にみると、『そう思わない（計）』は“君津地域”（26.8%）が2割台半ばで高くなっている。（図表2-2）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う（計）』は女性の70～74歳（80.4%）が8割で高くなっている。一方、『そう思わない（計）』は男性の30代（31.6%）が3割を超え、男性の20代（28.0%）が約3割、男性の50代（25.3%）と女性の30代（24.4%）が2割台半ばで高くなっている。

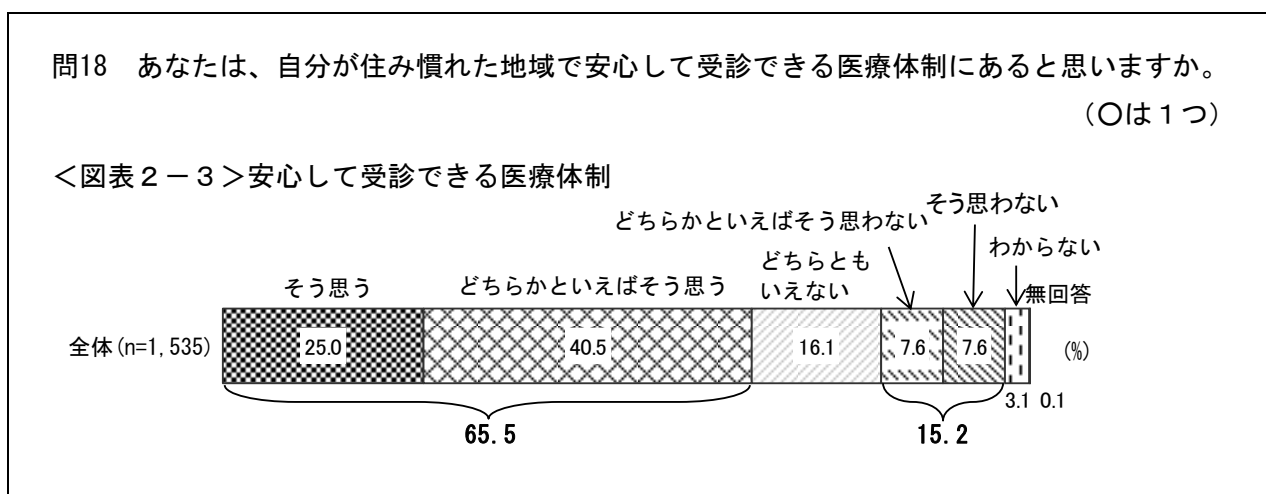
（図表2-2）

<図表2-2>健康づくりへの取組状況／地域別、性・年代別



## （2）安心して受診できる医療体制

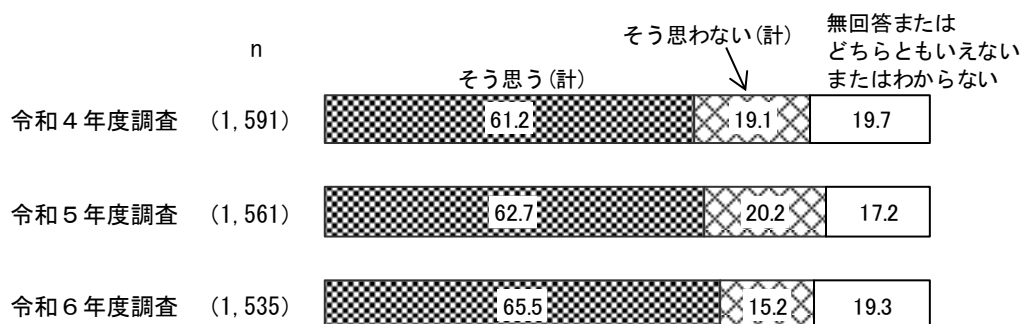
◇『そう思う（計）』が6割台半ば



住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思うか聞いたところ、「そう思う」（25.0%）と「どちらかといえばそう思う」（40.5%）を合わせた『そう思う（計）』（65.5%）が6割台半ばとなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」（7.6%）と「そう思わない」（7.6%）を合わせた『そう思わない（計）』（15.2%）が1割台半ばとなっている。（図表2-3）

【参考】令和4年度・5年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



### 【地域別】

地域別にみると、『そう思う（計）』は“葛南地域”（70.4%）が7割で高くなっている。

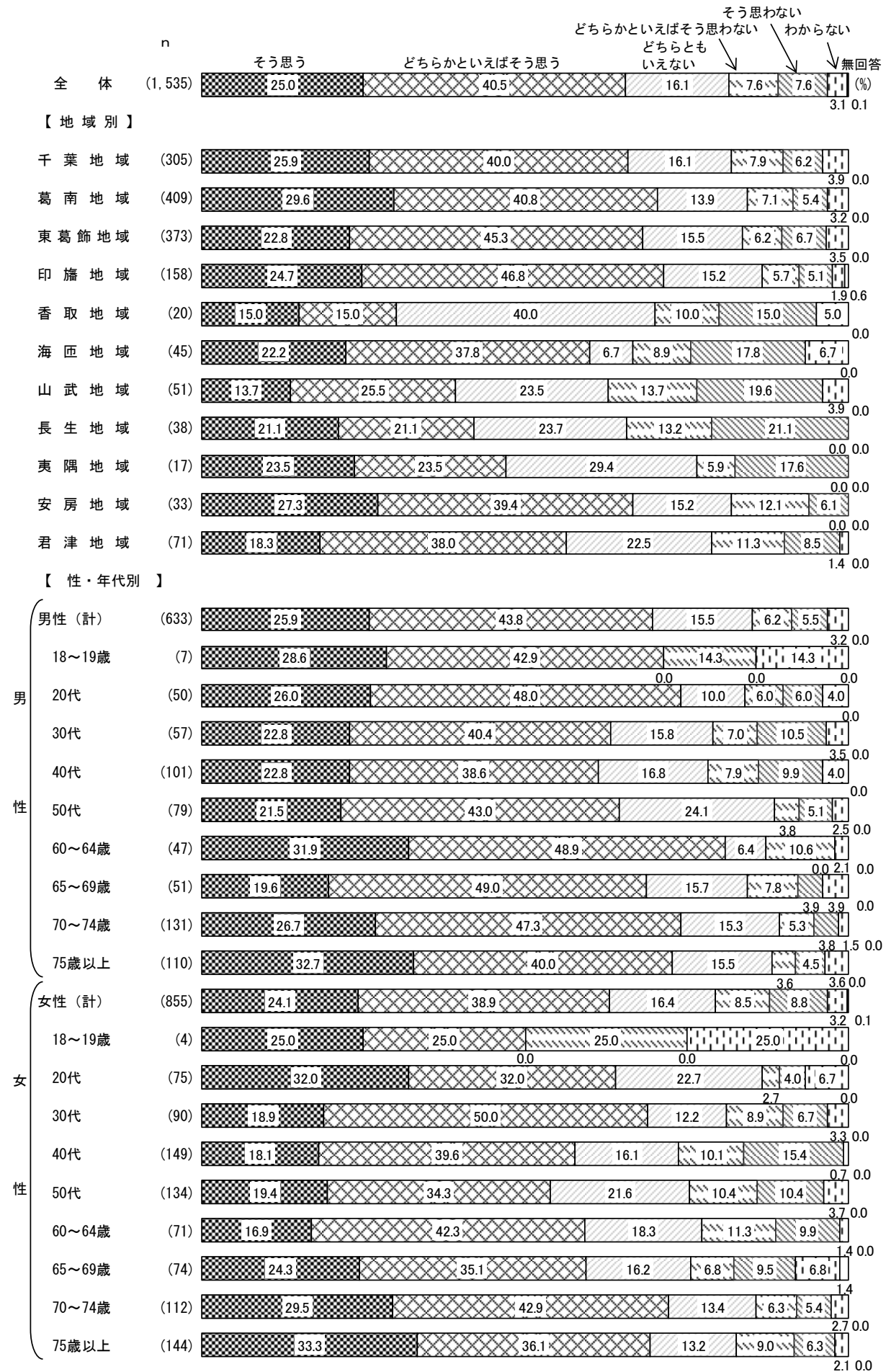
一方、『そう思わない（計）』は“長生地域”（34.2%）が3割台半ば、“山武地域”（33.3%）が3割を超え、“海匝地域”（26.7%）が2割台半ばで高くなっている。（図表2-4）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う（計）』は男性の60～64歳（80.9%）が8割、男性の70～74歳（74.0%）が7割台半ばで高くなっている。

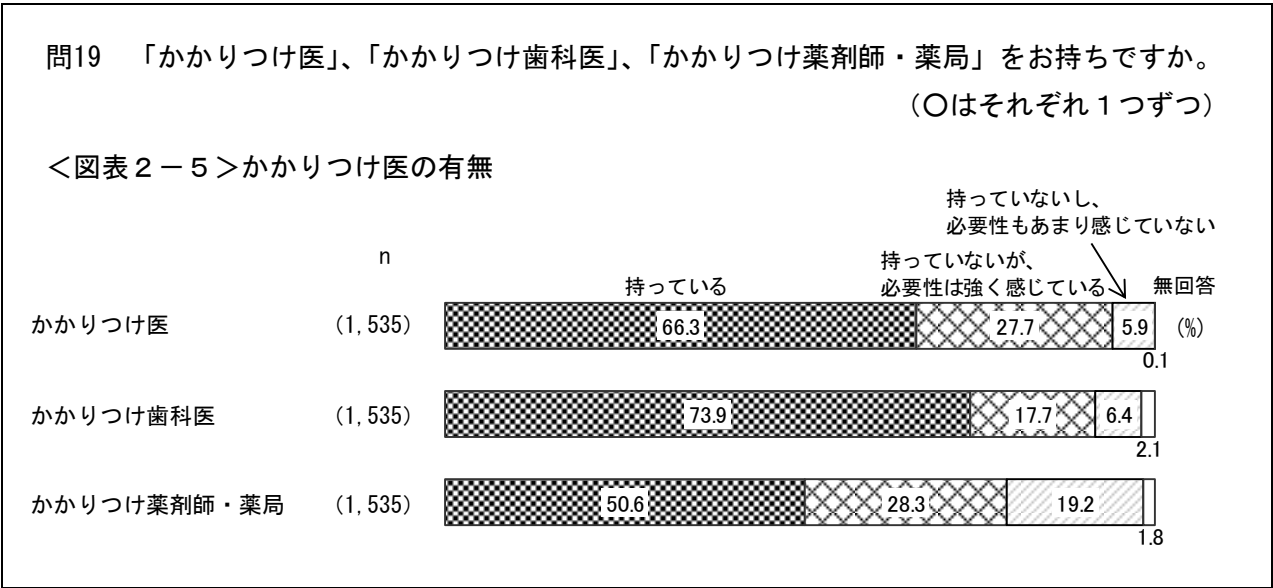
一方、『そう思わない（計）』は女性の40代（25.5%）が2割台半ばで高くなっている。（図表2-4）

<図表2-4>安心して受診できる医療体制／地域別、性・年代別



### （3）かかりつけ医の有無

◇かかりつけ歯科医を持っているが7割台半ば、かかりつけ医を持っているが6割台半ば



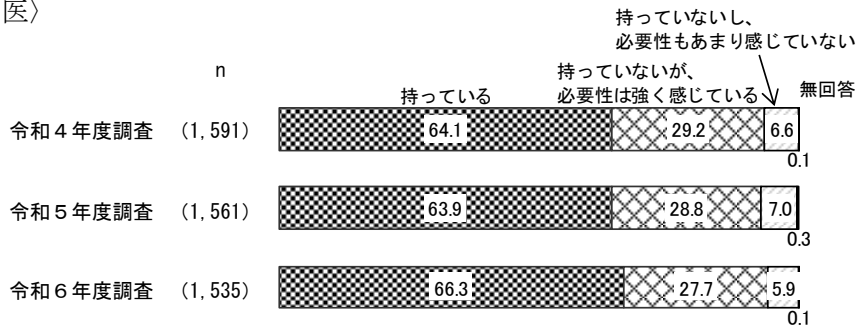
かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師・薬局を持っているかどうかを聞いたところ、「持っている」は〈かかりつけ歯科医〉（73.9%）が7割台半ば、〈かかりつけ医〉（66.3%）が6割台半ば、〈かかりつけ薬剤師・薬局〉（50.6%）が5割となっている。

また、「持っていないが、必要性は強く感じている」は〈かかりつけ薬剤師・薬局〉（28.3%）と〈かかりつけ医〉（27.7%）が約3割、〈かかりつけ歯科医〉（17.7%）が約2割となっている。

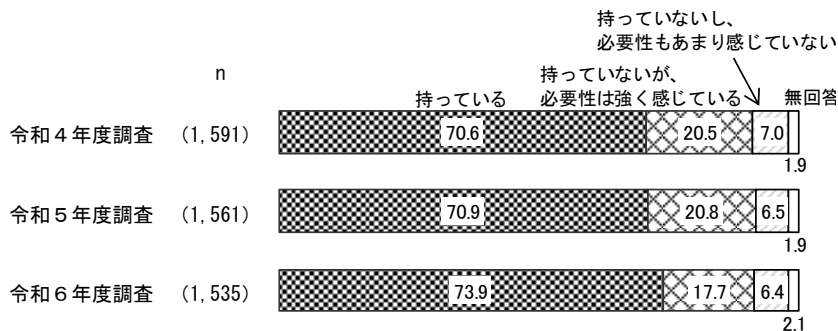
「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は〈かかりつけ薬剤師・薬局〉（19.2%）が約2割となっている。（図表2-5）

#### 〔参考〕令和4年度・5年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

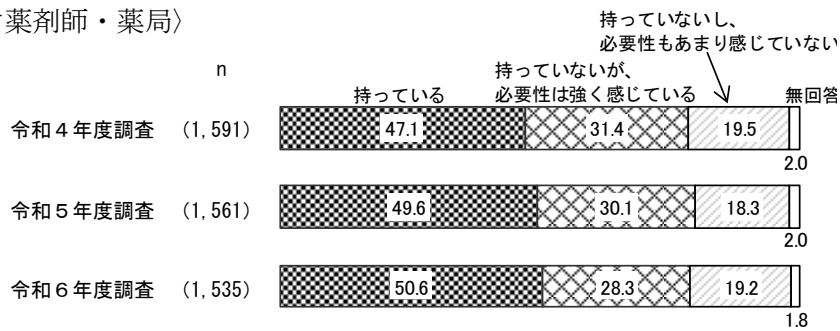
〈かかりつけ医〉



〈かかりつけ歯科医〉



〈かかりつけ薬剤師・薬局〉



【地域別】

地域別にみると、〈かかりつけ医〉を「持っている」は“千葉地域”（71.5%）が7割を超えて高くなっている。また、「持っていないが、必要性は強く感じている」は“東葛飾地域”（33.0%）と“葛南地域”（31.5%）が3割を超えて高くなっている。

〈かかりつけ歯科医〉については、「持っていないが、必要性は強く感じている」は“千葉地域”（22.0%）が2割を超えて高くなっている。また、「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は“海匝地域”（17.8%）が約2割で高くなっている。

〈かかりつけ薬剤師・薬局〉については、「持っている」は“印旛地域”（58.2%）が約6割で高くなっている。（図表2-6）

【性・年代別】

性・年代別にみると、〈かかりつけ医〉を「持っている」は女性の75歳以上（86.8%）が8割台半ば、女性の70～74歳（83.0%）と男性の75歳以上（81.8%）が8割を超え、男性の70～74歳（75.6%）が7割台半ばで高くなっている。

「持っていないが、必要性は強く感じている」は男性の30代（52.6%）が5割を超え、女性の30代（42.2%）が4割を超え、女性の40代（40.3%）が4割、男性の40代（39.6%）が約4割で高くなっている。

「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は男性の20代（18.0%）が約2割、女性の30代（11.1%）が1割を超えて高くなっている。

〈かかりつけ歯科医〉を「持っている」は女性の60～64歳（85.9%）が8割台半ば、女性の75歳以上（83.3%）と女性の70～74歳（83.0%）が8割を超えて高くなっている。

「持っていないが、必要性は強く感じている」は男性の20代（36.0%）が3割台半ば、男性の40代（30.7%）が3割で高くなっている。

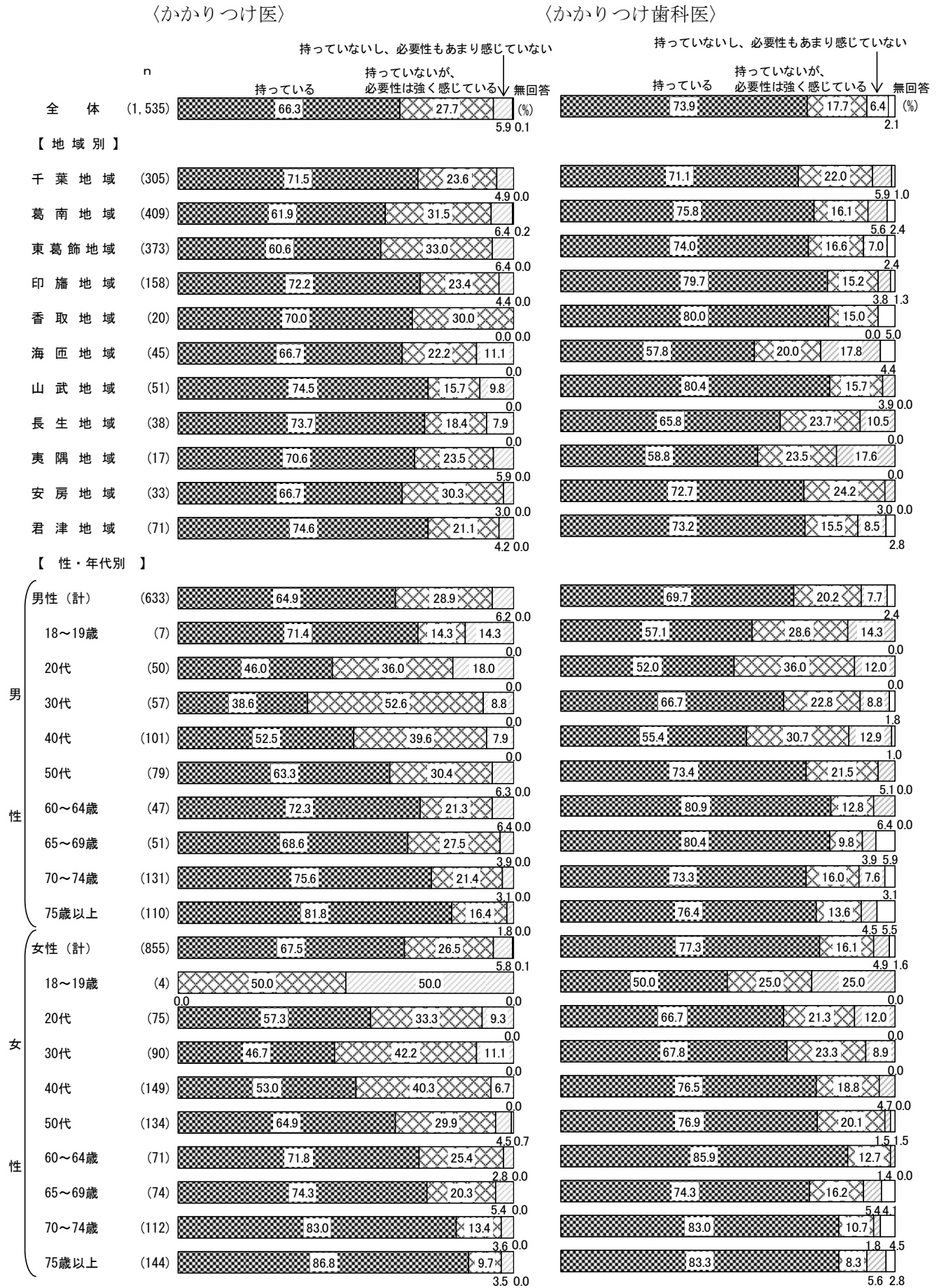
「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は男性の40代（12.9%）と女性の20代（12.0%）が1割を超えて高くなっている。

〈かかりつけ薬剤師・薬局〉を「持っている」は女性の75歳以上（77.8%）が約8割、女性の70～74歳（69.6%）が約7割、男性の75歳以上（63.6%）が6割台半ば、男性の70～74歳（62.6%）が6割を超えて高くなっている。

「持っていないが、必要性は強く感じている」は男性の40代（37.6%）が約4割、女性の50代（35.8%）が3割台半ばで高くなっている。

「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は男性の30代（43.9%）が4割台半ば、女性の20代（32.0%）と男性の40代（31.7%）が3割を超え、女性の30代（30.0%）が3割、女性の40代（26.8%）が2割台半ばで高くなっている。（図表2-6）

<図表2-6>かかりつけ医の有無／地域別、性・年代別



〈かかりつけ薬剤師・薬局〉

